

MS & A D インシュアランス グループ
ホールディングス株式会社
MS & A D ゆにぞんスマイルクラブ事務局 御中
一般社団法人日本編物文化協会 御中

ベトナム社会主義共和国
子どもたちへの手編みセーター一等配布事業
完了報告書



2013年4月3日

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン

御礼

貴会によりご支援をいただきましたベトナム社会主義共和国「子どもたちへの手編みセーター等配布事業」が完了しましたので、ここに感謝とともにご報告致します。

山岳地帯に住む家庭は貧しく、子どもたちが持っている洋服の数も限られています。そうした中、日本の皆さまから、カラフルで見たくも美しく、様々なサイズや種類の思いが込められた手編みの衣料品が贈られたことで、地域の子どもたちは大変励まされました。また、手編みのセーターなどの質の良い衣料品は、これから長い間、体を寒さから守る大切な防寒着となります。

貴会のご関係者の皆さまと、その喜びと希望を共に分かち合っただけならば幸いです。

このご支援に心から感謝し、これからも世界で貧困や困難の中にある子どもたちや人々への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

1. 支援事業概要

支援事業名:	子どもたちへの手編みセーター等配布事業
支援事業地:	ベトナム社会主義共和国 ディエンビエン(Dien Bien)省 トアンザオ (Tuan Giao) 郡
支援事業期間:	2 カ月間 (2012 年 12 月～2013 年 1 月)
受益者:	トアンザオ郡に住む子どもたち約 3,590 人
支援申請金額:	750,000 円
内容:	物資支援として提供された手編みのセーターなどウール類を配布する。

2. 支援事業の背景と目的

ディエンビエン省は、ベトナム北西の山間部に位置しラオスと国境を接している、ベトナムの中でも 3 番目に貧しい地域です。同省はトアンザオ郡を含む 6 郡と 1 市に分かれており、省都のディエンビエンフーへは、首都ハノイから飛行機で 1 時間ほどかかります。この地域には、モン族やタイ族などの少数民族が多く暮らしています。

支援地のトアンザオ郡（人口約 76,092 人：2009 年統計）はディエンビエン省北東の山間地で、省都のディエンビエンフーから約 60 km（車で 1 時間半）のところに位置する 13 のコミューンと 1 つの町からなる郡です。

地域住民のほとんどが農業や林業で生活を支えています。40%以上の人々がベトナム政府の定める貧困ライン以下の生活（1 人当たり月 20 万ドン（約 960 円）未満の生活）を送っています。

支援地は山間部のため、朝晩の気温差が大きく、冬季には気温が摂氏 3 度まで下がります。しかし、多くの貧しい家庭では、子どもに温かい服を買い与えることができず、たくさん子どもたちが寒さによる免疫の低下で、咳やのどの痛み、肺炎を起こしています。また、防寒着がないために、冬の間は学校を休み、家で火にあたって時間を過ごす子どもも多く、勉強についていけずに学校からドロップアウトすることも問題となっています。

トアンザオ郡では、ワールド・ビジョンによる地域開発プログラム（トアンザオ地域開発プログラム）を行っており、貧しい子どもたちやその家庭への支援活動を 2010 年 10 月から始めていますが、まだ全ての子どもたちの必要を満たすことが出来ていない状況が続いています。本事業は、トアンザオ郡のタマ・コミューン、フィンサン・コミューン、プニューン・コミューンに住む子どもたちを、冬の寒さによる体調不良や風邪などの蔓延から守ることを目的として、暖かい羊毛のセーターを送りました。

3. 支援事業内容

1) 活動内容

寄付された手編みセーター等は、2012年12月26日にディエンビエン省トアンザオ郡に到着しました。トアンザオ地域開発プログラムのスタッフと地域のカウンターパートが協働し、届いた衣料品の数量を確認し、配布計画を立てました。配布対象者は、郡やコミューンの人民委員会、学校関係者、住民代表との協議の上、選定されました。支援者より寄付された手編みのセーター等は、2013年1月9日の贈呈式にてトアンザオ郡のタマ、フィンサン、プニューン・コミューンの幼稚園、小学校、中学校の子どもたちに直接手渡されました。（詳細は下記表参照）

1) 受益者数と配布物内訳

トアンザオ郡 タマ・コミューン、フィンサン・コミューンとプニューン・コミューンの幼稚園・小中学校

受益者内訳		配布物内訳
タマ・コミューン	幼稚園（生徒 335 名）	セーター170 着、マフラー165 点
	小学校（生徒 370 名）	セーター78 着、帽子 292 点
	中学校（生徒 50 名）	セーター50 着
フィンサン・コミューン	幼稚園（生徒 750 名）	セーター480 着、マフラー270 点
	小学校（生徒 1,019 名）	セーター130 着、マフラー736 点、帽子 153 点
	中学校（生徒 518 名）	セーター132 着、帽子 363 点、靴下 3 ペア、カバン 5 点、手袋 15 ペア
プニューン・コミューン	幼稚園（生徒 198 名）	セーター137 着、マフラー61 点
	小学生（284 名）	セーター50 着、帽子 234 点
	中学生（66 名）	セーター50 着、ベスト 16 着
受益者合計： <u>子ども 3,590 名</u>		

上記に加え、去年の残金で購入した 119 枚の毛布を 3 コミューンの小中学校の寮生に配布しました。

4. 支援事業による効果

- セーター等の防寒具の配布を受けた子どもたちが、暖かく健康に冬を過ごせるようになることに加え、子どもたちがより励まされて、通学や勉学を続けることができることを期待しています。
- 質の良い防寒具のため、長く使うことができ、貧しい家庭の家計も支えています。

地域の人からのコメント：



「この度は、当園の園児全員 19 名に日本の方々からの編み物のプレゼントをいただきました。セーターを配った時、子どもたちは、とても喜んで、親のところに走って見せに行っていました。子どもたちの冬は、日本の友人からの贈り物によって、少し暖かくなりました。プレゼントをくださった皆さまに心より感謝いたします。」

クアン・ティ・ハ（幼稚園教師）

「セーターもらって、とってもうれしかったよ。お父さんとお母さんのところに走って、お知らせしたの。『今日、セーターをもらったんだよ。これ、大好き』って。セーター、あたたかいから冬の間、ずっと着てたよ。」



カー・ヴァン・トゥイ（5歳）と ADP スタッフ



「私には、二人の子どもがいますが、今回、二人とも日本からのセーターのプレゼントをいただきました。二人はとても気に入って、日が照っている暖かい日でもずっとセーターを着ています。うちのような高地に住んでいる貧しい子どもたちに、温かい心を送ってくださり、本当にありがとうございました。」

カー・ティ・セン（セーターを受け取った子どもの母親）

5. 会計報告

別途ご報告します。

【添付資料】

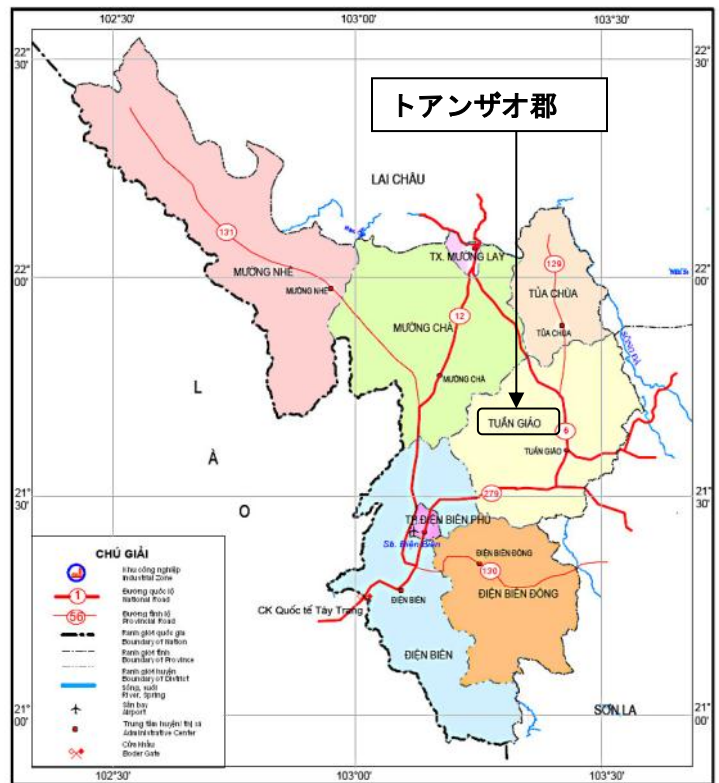
- ① 地図
- ② 支援事業写真

【添付資料】

① 支援地地図：



ベトナム社会主義共和国
ディエンビエン省



② 支援事業写真

1) タマ・コミュニティでの配布の様子



配布セレモニーに集まった子どもたち



配布の準備



小学校の生徒たちによるダンスの披露



中学校の生徒による歌の披露



配布を待つ子どもたち



三井住友海上の方々と



セーターを受け取る中学生たち



毛布を受け取る中学校の寮生たち

2) フィンサン・コミュニティでの配布の様子



生徒たちによるダンスの披露



配布を待つ子どもたち



三井住友海上玉垣様



三井住友海上ベトナム栴島様



配布の様子



トアンザオ郡人民委員会副委員長と共に



名前のタグを読む子どもたち



集合写真